



杉の里

(社)新潟青年会議所広報誌

<http://www.niigata-jc.com>

2005.VOL.19

日々革新！起そう 価値ある変化 ～自立した地域主権社会の形成へ向けて～

オリエンテーション委員会10月公開委員会

2005年10月14日 金曜日



10月14日(金) イタリア軒にてオリエンテーション委員会10月公開委員会と座談会が長野青年会議所OBで第50代日本青年会議所会頭でもある土屋 龍一郎先輩をお招きして行われました。座談会におかれましては、1時間半という時間の中で、さまざまなジャンルから飛び出す言葉は、非常に魅力的でどの話も吸い込まれてしまう感じさえました。その中でも、長野(信州人)から見た「にいがた」のアイデンティティについて語って頂き、私たちが日常、当たり前であって気づかなかった、にいがたの魅力を沢山教えられるような気がします。その中でも、新潟市には港があり、海を越えていけるチャンスがにいがたにはあるという言葉がとても印象的でありました。他には、長野から日本というスタンスにポジションチェンジ、JCのトップとなっていくまでで経験された時間は、とてつもなく深く高貴に満ちたお話で、トップが人をモチベートするのではなく、自分自身が何でもできるというふうモチベートされてくるという言葉は、まさしく経営心理学者・マズローで解く自己実現の領域にあり、私たちがJCにも、仕事にも常に信念を持っていきなさいというメッセージにも感じとれました。最後に、リーダーシップに求められる資質の質問に対しては、野球に例えてお答え頂きました。「絶対にアウトになっては駄目！必ず出塁すること！」と使命感を強く呼び起される言葉として心に響く座談会となりました。その後、仮入会員を中心に公開委員会が行われ、第50代日本青年会議所会頭を務められた時の貴重な体験談や長野JC理事長時代に長野オリンピック成功に寄与されたという豊富なJC活動経験をもとに青年会議所の活動の取り組み方や心構えなどユーモアを交え非常に分かりやすくお話をいただきました。質疑応答ではこれからの新潟青年会議所を担う仮入会メンバーから積極的な質問がでるなど非常に有意義な時間となりました。オリエンテーション委員会の皆様大変おつかれ様でした。



新潟ブロック協議会「理事長塾」

2005年10月15日 土曜日

10月15日(土)加茂市産業センターにおいて北陸信越地区・新潟ブロック協議会、第15回Ambitious Jaycee育成委員会「理事長塾」が開催されました。常日頃から高い「志」を持ってJC運動に取り組んでいる理事長の熱い思いや情熱を、直接入会年度の浅いメンバー中心に伝えていくことを目指したプログラムとなりました。参加された入会年度の浅いメンバーからは「自分のLOMだけでなく、色々な理事長のお話が聞けて、大変勉強になった。」「メンバー、それぞれの地域の特色がでていて、またJCが楽しくなった。」「他のLOMの良いところを吸収できて参加して良かった。」「などなどJCの存在意義を再確認し、互いに影響しあい、JCパーソンとしてのスキルアップにつながる時間となったのではないのでしょうか。会後半には、「ダイニングバーAmbitious」という時間も組み込まれており、新たなメンバー同士がこれからの「志」についての話が飛び交い、最後には壇上で、声高々に熱い決意表明で締めくくられました。また新潟ブロック協議会が一段と大きな輪として広がったのではないのでしょうか。出向メンバーの田中一昭君の迫力あるJCクリード、本事業のまとめを参加したメンバーに強く印象付けてくれた八百板勲君、総括としてリーダーシップを発揮してくれた廣井智雄君、最後に長時間にわたった設営を頑張ってくれた浜野義信君、板垣英一君、河内吉教君、早川直希君、また新たなメンバーに「JC LOVE」を有難うございました。

杉の里
(社)新潟青年会議所広報誌

発行：社団法人新潟青年会議所
〒951-8068新潟市上大川前通7番町1243番地
TEL 025-229-0874 FAX 025-22-7234
e-mail info@niigata-jc.com
URL <http://www.niigata-jc.com>
企画編集 2005年度情報通信戦略委員会
委員長 森田雅巳
副委員長 浜野義信 金田真人
幹事 肥田野正明
委員 大倉一浩 桑原弘光 小木将綱
浜井信之 浅見和仁 佐野由香利
中島正巳 渡辺博司 水倉直人
渡部竜三 内田将 志賀貴行

